

# JR東労組

# 本部OB会

# ニュース

No.201 2014年 6月発行

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

## たしろ議員の奮闘を

## 全OB会員は支えよう!

### 東京地本OB会「たしろかおる国会激励行動」ルポ

薫風というにはいささか強すぎる風が吹いた5月12日、東京地本OB会が「たしろかおる国会激励行動」を実施しました。4月11日に開催された「第18回本部OB会定期総会」で今年度の活動方針として各地本OB会が「たしろかおる議員激励国会見学」ツアーを取り組むことが確認され、その突破口として今回東京地本OB会が実施したものです(横浜地本は地本OB会役員を中心に4月に同様の取り組みを行なっています)。

当日13時に参議院議員会館前に集合した51名のOB会員は、早速たしろ事務所の畠山秘書の案内で、参議院本会議場の見学に向かいました。昭和11年に建造された国会議事堂

の中には、薄暗く感じられ時代がかったものでした。参議院本会議場では衛視の説明を聞き、戦前の貴族院の名残をとどめた中身を覗き、帰りに本会議場の「たしろ議員」の座席を確認しました。参議院内を一通り見学した後、全員で国会議事堂をバックに記念撮影です。

その後、会場を参議院議員会館に移し、「たしろ議員」との意見交換会が開催されました。



### 議員のいる重みを実感する



意見交換会では、皿木会長の挨拶の後たしろ議員から

安倍政権が進める強権的な政権運営の中身が暴露され、自身の政治姿勢の説明が丁寧な説明されました。

その後の意見交換会では、4名の会員から発言がありました。その内容は「組織内の議員がいることは強みだ」「苦渋の選択を受け止める」「集団的自衛権に対する立ち位置を」「再選に向けOB会として何をやるかだ」等であり、組織内の議員がいることの重みを全体で確認し、意見交換会を終えました。

国会での行動を終えた東京地本OB会の一行は、大挙して場所を移動し、有楽町で大懇親会を開催しました。全ての取り組みを、2年後に合わせた固い意志統一がされました。

### 退職者連合が介護保険制度改悪反対で

## 連日国会傍聴行動を実施!

退職者連合は、衆議院厚生労働委員会で審議されている「医療・介護総合的確保推進法案」に反対するために、4月25日・5月9日・14日に国会傍聴行動を実施しました。この行動には、退職者連合と連合をはじめ日本介護クラフトユニオン(UAゼンセン)等の組合員も参加し、連日傍聴席は満員になりました。JR東労組OB会も、在京の東海労や貨物労組のOBの仲間と共に参加しました。

今問題になっている「医療・介護総合的確保推進法案」は、社会保障を充実させるために4月から消費税を8%へと引き上げたのに、逆に介護費用を抑制するために要介護度の低い要支援者向けのサービスのうち、訪問介護と通所介護を保険(予防介護)から外し、市町村の事業に移すことを柱にした法案なのです。それによって120万人の利用者がこの保険の対象から除外されてしまいます。

この重要法案は、委員会で十分な審議もしないまま5月14日に強行採決され、翌15日には衆議院本会議で全野党が反対する中、自民、公明両党による賛成多数で可決されてしまいました。法案はその後、参議院厚生労働委員会に移されています。

JR東労組OB会は、今後も退職者連合と共に、たしろかおる議員が所属する参議院においても精一杯の闘いをしていく決意です。



### 暴走を許さない取り組みを

安倍政権は今、歴代の自民党政権がなし得なかったことを一気にやり遂げようと、とりつかれた様に強権政策を押し進めています。その象徴的なものが、5月15日に発表した集団的自衛権行使を容認する「解釈改憲」です。この日が新たな戦前を画した日であると、後世に言われることになるのではないのでしょうか。

こうした暴走を止めるために多くの市民と共に闘いながら、2年後の国政選挙、とりわけたしろ再選のため、全OB会員は精一杯の取り組みをしましょう。

### 6月開催の各地本OB会定期総会の日程

- 6月14日 大宮地本OB会第15回定期総会(総合車両センター)
- 6月21日 高崎地本OB会第17回定期総会(地本事務所)
- 6月21日 八王子地本OB会第17回定期総会(地本事務所)
- 6月28日 新潟地本OB会第18回定期総会(支社会議室)

盛岡

美世志会も参加し、活発な議論

第18回定期総会が5月21日13時より地本会議室で、総勢60名の参加者で開催されました。

総会は「オープニングビデオ」の上映後、来賓の坂本本地本委員長、古川本部OB会長、田中森びと東北事務所長、美世志会の梁次氏の順で御挨拶をいただきました。

発言者は5名で、

安倍政権に反対する為、

11団体で共同行動している

後援会は人間関係で入るので、振込み用紙を配るだけではダメだ

工務職場OBの交流は大変良かった

等でした。

総会は、事務局次長を2名体制にした新役員体制を築き、和気あいあいの内に北の砦としてのOB会組織を確立して終了しました。

- 新役員体制
- 会長 小田嶋 彰
  - 副会長 " 田村 俊一
  - " " 加賀 眞一
  - " " 伊藤 壯一
  - " " 内海 勝行
  - 事務局 橋本 利則

わが町の 有名人

今月の秋田 秋田地本OB会 紹介する人は、秋田駅前前で観光案内をしている高橋義美さんです。

高橋さんは、国鉄時代は秋田機関区で機関士をしていました。国鉄改革時に秋田駅へ転勤し、旅行センターや改札業務に就きました。この時の経験がその後の人生に役立ち、JRを

仙台

貨物の仲間が初参加

5月25日13時より地本会議室で52名の参加者で「第18回定期総会」を開催しました。

来賓には伊藤地本副委員長、本部OB会より伊藤事務局長と川崎事務局長、そして初めて貨物労組東北地本OB会の伊沢事務局長が参加しました。総会では6名のから発言がありました。

各地で定期総会開催

・役員の成り手が少なく苦勞する  
・会員にアンケートをしたら、運動とレクをして欲しいが多かった  
・県内の三支部OB会で交流会をやっており、懇親を深めている

今定期総会は、今後の貨物労組OB会との交流を確認し、本音の議論ができた有意義な総会となりました。

- 新役員体制
- 会長 近藤 寿一
  - 副会長 " 平井 謙一
  - " " 佐藤 孝人
  - " " 天口 寿二
  - 事務局 林 英夫

長野

一部役員が交代し、現退一致の方針で

5月25日、13時半より市内の第一ホテル会議室で、50名の参加者で「第17回定期総会」が開催されました。

来賓には、大久保地本委員長、本部OB会の古川会長と竹島副会長、県高退連の福島副会長と小林義直長野市議が参加しました。

総会では5名の委員が発言しました。

エルダーは情報が入らない

密にしてほしい

横浜で退職したが、松本でエルダーとして働いて家族で喜んでいる  
・出向先の労働環境が厳しい、組合を創るべきだ

総会は、現役からも「レクに参加して欲しい」と発言があり、現退一致の取り組みを確認して終了しました。

- 新役員体制
- 会長 近藤 愛一郎
  - 副会長 " 田上 憲由
  - " " 美齊 津大
  - " " 牛 轟 正
  - 事務局 清水 隆夫

駅前顔に



元気に笑顔で観光案内をしています。

退職後、営業職場で学んだ経験を活かして、20〜30人の市民が活動しているボランティア団体の「秋田観光案内会」に加わり、秋田市を訪れる観光客に市内を案内しています。そして今では、その活躍ぶりが認められ、会の事務局の主要なメンバーとなって運営に携わるまでになりました。昨年は、JR6社共催のDCキャ

ンペーンを開催したり、今年も「国民文化祭」を企画して、多くの観光客を秋田市に呼ぶ計画を立てています。そんな高橋さんに奥さんは「ほどほどにしていなさい」と云いながらも、光案内をしてくれる姿を見て「お父さん頑張ってる」と心の中で叫んでいるそうです。(秋田市在住・高橋義美・68歳)

水戸支部OB会総会と花見を開催

水戸支部OB会は、4月12日10時から水戸運輸区講習室において20名の会員で第7回定期総会を開催しました。

支部OB会の前野会長のあいさつに続き鈴木地本OB会長、平山地本副委員長、鈴木支部委員長の3名からご挨拶をいただきました。その後活動方針(案)が、参加者全員の拍手で採択されました。

総会終了後、駅南公園で花見を実施し、久しぶりに会った仲間で和気あいあいと有意義な一日を過ごしました。

この間水戸支部OB会は、会員拡大の取り組みを精力的に取り組んできた結果、今回3名の方がOB会に入会し定期総会に出席して頂きました。その内、2名の方が幹事として協力して頂く事になりました。

これからも、「たしろかおる」を応援していくと共に、会員拡大とレクリエーションを通じ、更なる発展を目指していきます。

(水戸支部OB会 花香 京寿)

甲府

工務連合分会OB会を結成

4月19日甲府市「プラハ」において、28名の参加者で甲府支部工務連合分会OB会の結成総会が開催されました。

15時渡辺準備委員の司会で総会が開始され、準備会代表の平井さんより、結成の経過と今後の決意が述べられました。この後、八王子地本と支部OB会、現役の支部、大月保線技術センター分会長がお祝いの言葉を述べました。結成準備会側から誰でも参加でき、何でも話し合える交流をメインとしたOB会にし、工務連合OB会独自の取り組みを年4〜5回実施をしていく運動方針が提起され満場一致で採択されました。懇親会では参加者全員から近況報告が述べられ、今後の活動の大きなステップとなりました。

八王子地本OB会

開会冒頭、馬場会長より「安倍首相は、医療費の負担増、年金保険料率の引き上げ等の暴挙を行っている。『たしろかおる議員』に踏ん張っていただき、再選に向けて頑張ろう」と挨拶がありました。次に地本OB会、本部OB会、横浜地本OB会、立川支部、支部シニア会の紹介があり、その後、シニアや家族の協力で焼き上げた肉野菜を肴に交流をしました。また、新たに結成した工務・車掌・営業のOB会の仲間も参加して、膝を突き合わせ飲み語り合いました。

- 役員体制
- 会長 平井 博明 (大月)
  - 副会長 大木 光輝 (甲府)
  - " " 渡邊 喬 (甲府)
  - 保)

立川支部OB会は、今回の成功で勝ちとられた団結の力で反動政治を打ち破り、「たしろ選挙」を戦う意思を打ち固めました。

立川

70名でバーベキューを開催

立川支部OB会は、5月6日、立川昭和記念公園でバーベキューレクリエーションを70名の参加者で開催しました。当日は、GWの最終日とあって、大変な賑わいでしたが、多くの仲間が手伝いをしてくれたお陰で、準備は早い時間に整いました。